

12 水源の森応援隊

- 【日 時】 平成 29 年 9 月 23 日(土) 10:20~14:30
【場 所】 王滝村松原運動公園ほか
【内 容】 以下のとおり

森林整備協定を締結している愛知中部水道企業団との交流事業の一環として毎年行っている「水源の森応援隊」について、9 月 23 日王滝村松原スポーツ公園において実施いたしました。

今回は、企業団管内 4 市 1 町（日進市、豊明市、みよし市、長久手市、東郷町）の住民 81 人（うち子供 2 人）、同水道工事組合 31 人、企業団職員 31 人の合計 143 人が訪れ、上流域の参加者 26 人（瀬戸副連合長・王滝村長、王滝村 2 人、（保健師含む）、実行委員 15 人、広域連合 8 人）とともに育樹作業を行いました。天候が心配されていましたが、当日明け方までには雨がやみ、予定通り作業を行うことができました。

10 時 30 分より開会式典を始める予定でしたが、下流域からの参加者が予定より早く到着したため、10 分ほど早く開始しました。式典では愛知中部水道企業団野々山局長と瀬戸副連合長・王滝村長からそれぞれご挨拶いただきました。その後連絡事項の伝達と準備体操を行い、10 時 50 分ごろより公園周辺の除伐作業を行いました。

今回の作業現場は、今年 6 月 1 日に開催された「木曽郡植樹祭」において除伐作業をした場所から更に奥にある土手で、5 つの班に分かれて除伐を行いました。シラカバやクリ、モミジなど公園整備の際に植えられた樹木を残し、全て伐り払いしました。1 時間程の作業で約 0.5ha の土手はすっかり見通しが良くなりました。

11 時 50 分ごろには作業を終えて式典会場に戻り、閉会式典を行いました。木曽地域振興局林務課の越原企画幹より講評をいただき、参加者が行った除伐作業により森林の風通しが良くなり、鳥が餌となる虫を見つけやすくなることで樹木が健全に育っていくことなどをお話いただきました。その後昼食となりましたが、水道工事組合からの参加者はここで会場を後にしました。

午後 1 時からは体験教室として、木曽産のひのきから作ったウッドチップを不織布袋に詰めていただきました。王滝村内の事業者で生産されているウッドチップは香りも強く、芳香剤や入浴剤の代わりとして使うことができます。

その後は 2 手に分かれ、牧尾ダムの見学と日野百草本舗王滝店でのお買い物を交互に楽しんでいただきました。牧尾ダムでは坂野所長の説明をお聴きし、パンフレットとダムカードをご提供いただきました。午後からは晴れ間が広がり、周辺の散策や写真撮影を楽しむ方もいらっしゃいました。日野百草本舗王滝店からは、参加者の皆様に「おんたけ茶」のプレゼントをいただきました。午後 2 時 30 分頃には全行程を終了し、下流へ向け出発されました。

◎ 当日の様子



開会式典



企業団 野々山局長あいさつ



瀬戸副連合長・王滝村長あいさつ



除伐作業 1



除伐作業 2



作業後の土手



閉会式典での講評（越原企画幹）



体験教室（ひのきチップ袋詰め）



牧尾ダム見学



日野製薬王滝店